

## English Day を中心とした言語活動の充実

【羽生市教育委員会】

- 1 小学校, 全学年, 外国語活動,
- 2 ねらい 常勤のALTを有効活用して言語環境及び言語活動を充実し、英語に慣れ親しみながら積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

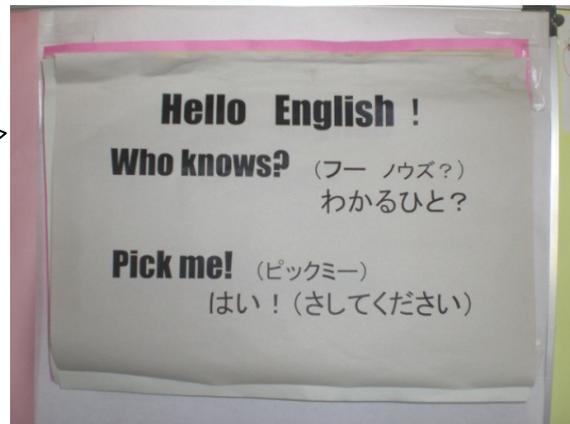
### 3 取組内容

週1回の授業だけでは英語に慣れ親しむ機会が十分ではない。そこで言語環境の改善及び言語活動の充実を図るため、毎週木曜日を「English Day」とし、全校を挙げて言語活動の実践に取り組む日とした。

<活動内容>

(1) 「Hello English」・・・週替わりで英会話ダイアログを設定し積極的に使う。教師が英語で話しかけるきっかけを作ることで、児童の発話を何回でも促すことができる。

(2) 英語での登下校のあいさつ・・・「朝は Good morning!」を合い言葉に英語であいさつを交わす。1日5回以上が目標。



(3) ALTによる朝・昼のアナウンス・・・朝の行事連絡や給食のメニュー、歯磨きタイム等を英語でアナウンスし、自然な英語に親しませる。



(4) 昼休みを使った英語の読み聞かせやゲーム・・・子どもたちの大好きな読み聞かせで英語に慣れ親しませる。また、英語圏の遊びで文化を伝える。

(5) 教師のクラスルームイングリッシュの使用（あいさつ、健康観察、号令等）

(6) その他の取組

○イングリッシュルームの新設

○各教室及び設置用具等の英語名称の掲示

○ALT掲示板の設置

○ALTと児童との給食や体育の授業、クラブ・委員会活動への参加による交流

○英語集会（月1回）

○フェスティバルや学年発表での英語発表



また、ねらいの実現のため学校全体で取組を行うための共通確認事項として下記項目を設定している。

<確認事項>

○English Day は、教職員が率先して英語を使用する。

○外国語活動や英語遊びの時間は、担任が中心となり積極的に英語を使用する。

○ALTは、児童に対して積極的に英語で接する。（英語に慣れ親しませる）

○ALTは、児童が日本語で話しかけたり何かを求めたりしてきたら、それを英語で言い直させるように意図的に行う

#### 4 成果と今後の課題

(1) 成果

○児童

- ・88%の児童が「以前より学校で英語を聞いたり話したりすることが多くなった」と回答した。
- ・外国語活動の授業以外でも、簡単な英語を話すようになった。
- ・外国人と積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする態度が高まった。（外国人来校時）

○教師

- ・英語に対する苦手意識が軽減し、授業への自信がついた。
- ・担任とALTの役割分担により、担任主導の授業への意識が高まった。
- ・来客や行事等では、英語でのコミュニケーションを意識した活動計画を立てるようになった。

(2) 課題

学校全体で取り組んだ「言語環境及び言語活動の充実」による成果は十分に表れたと考える。しかし、児童にとっては、まだまだ「英語はコミュニケーションツール」という意識が低い。その意識を高めていくには「自分の考えが伝わった喜び」を味わわせる体験を多く持たせる必要がある。今後も引き続き、ALTを活かした関わり合い方や活動を検討・実践していくことが課題である。